

大阪府スマート農業機器自作支援事業実施要領

(目的)

第1条 大阪府は、大阪農業の更なる強化・産地維持発展のため、農業者の自作によるスマート農業機器の製作および導入を支援し、農作業の省力化・農産物の高品質化、生産量向上等を実現し、府内農業者の経営改善を図る。

(事業内容)

第2条 本事業は、第1条の目的を実現するため、次に定める取組みについて支援する。

- (1) 技術者からの指導のもと農業者がスマート農業機器（別表1）を自ら製作し、又は組み立てて活用し、その効果について広く波及させる取組み。
- (2) 本事業で導入したスマート農業機器に生じた不具合を、技術者の指導のもと農業者が原因究明や機能回復を行う取組み。ただし、当該機器を導入した年度または翌年度に限る。

(事業実施主体)

第3条 事業実施主体は、次に定める全ての要件を満たす者とする。

- (1) 大阪府内で農業を営む3名以上の農業者の集まり。
- (2) 構成員のすべてが大阪府内に在住していること。
- (3) 代表者の定めがあること。

(事業の実施手続き)

第4条 知事は本事業を実施する際は、ホームページへの掲載等により広く公募するものとする。

2 事業実施主体は、知事が定める期日までに次に掲げる書類を所管の農と緑の総合事務所を經由して知事に提出しなければならない。

- (1) 申請書（様式1-1）
- (2) 実施計画書1（様式1-2）第2条の（1）を実施する場合
- (3) 実施計画書2（様式1-3）第2条の（2）を実施する場合
- (4) 見積書
- (5) 設計書又は完成物イメージ図 第2条の（1）を実施する場合のみ
- (6) その他、知事が必要と認める書類

3 事業の採択は、審査基準（別表2）に沿って審査会による審査を経て決定し、知事は速やかにその旨を申請者に通知するものとする。なお、予算の範囲を越える複数の申請があった場合には、合計点数の高い事業から順に採択し、同点の場合は高品質・高収量・省力化への貢献度合いから判断する。

(計画の変更)

第5条 事業実施主体は、別表3に掲げる変更をしようとする時は、大阪府スマート農業機器自作支援事業計画変更承認申請書（様式2-1）に、次に掲げる書類を添えて所管の農と緑の総合事務所を經由して知事に提出しなければならない。

- (1) 変更理由説明書（様式2-2）
- (2) 変更後の実施計画書
- (3) その他、知事が必要と認める書類

(計画の中止)

第6条 事業実施主体は、補助事業の中止をしようとするときは、大阪府スマート農業機器自作支援事業中止承認申請書（様式3）を所管の農と緑の総合事務所を經由して知事に提出しなければならない。

(実施報告)

第7条 事業実施主体は、事業が完了した日から30日を経過した日、又は事業実施年度末のいずれか早い日までに、次の書類を所管の農と緑の総合事務所を經由して知事に提出しなければならない。

- (1) 大阪府スマート農業機器自作支援事業実施報告書（様式4）
- (2) 成果物の写真（全体像がわかるもの）

(3) 成果物の作成マニュアル(様式5)

(4) 技術者からの指導内容(様式6)

(5) 収支報告書

(6) その他、知事が必要と認める書類

2 府は、前項により提出される機器の作成マニュアルについて、他の府内農業者での展開を図るため、公表に努めるものとする。

(効果報告)

第8条 事業実施主体は事業成果について、事業実施年度の翌年度末までに大阪府スマート農業機器自作支援事業効果報告書(様式7)を所管の農と緑の総合事務所を経由して知事に提出しなければならない。

(附則)

本要領は、令和4年6月17日から施行し、令和4年6月24日から適用する。

本要領は、令和6年3月29日から施行する。

別表1 対象となるスマート農業機器等

原則として【大阪府スマート農業推進指針（令和2年12月策定）3（2）本府スマート農業の方向性「生産性の向上」「イ 持続可能な農業」】に記載のある機器等とする。

内容	例
生産性の向上	<p><高収量・高品質化></p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境モニタリングシステム ・複合環境制御システム ・気象予測システム ・農薬適正使用・病虫害総合防除システム ・高収量・高品質化を可能とする革新的生産技術 等
持続可能な農業	<p><データ化やマニュアル化></p> <ul style="list-style-type: none"> ・産地内でのデータ共有による技術力の向上やマニュアル化 ・熟練技術伝承システム ・経営管理システム、雇用管理システム ・ロボット技術やAI技術による省力化 ・規模拡大に向けた農地データベースの整備、活用 <p><自動化や省力化></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アシストスーツ ・自動草刈り機 ・ドローンによる農薬・肥料等の散布、リモートセンシング ・ハウスの自動開閉 ・自動かん水 ・自動運搬機 ・自動操舵田植え機 <p><地域保全の効率化></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した水田の水管理システムなど、スマート農業に対応した基盤整備 ・ドローンを活用した土地改良施設の点検等 ・用排水路浚渫等土地改良施設の管理の超省力化 ・ため池防災テレメータシステムの高度化 ・農作物鳥獣被害対策へのICT活用等 <p><マーケットインによる計画的な農業生産></p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット検索情報やPOSシステムデータなどを活用した需要予測に基づく生産 等

別表2 審査基準

評価項目	配点	点数の基準
高品質化・高収量化・省力化等	20	生産物の高品質化や高収量化、農作業の省力化にどの程度寄与するか。
地域への波及性	10	地域や大阪農業全体に広く波及すると見込まれるか。
先進性	10	機器の製作について先進性があるか。
実現可能性	10	機器の製作について実現性があるか。

※審査員は、農政室推進課長、農政室参事（スマート農業加速化担当）、地産地消グループ長とする。

※採点は第2条（1）の審査時に行い、第2条（2）の事業を採択する際は、第2条（1）の点数を用いるものとする。

別表3 承認申請が必要な変更

承認申請が必要な変更
<ol style="list-style-type: none"> 1. 事業実施主体の変更 2. 経費の増額または事業量の30%を超える経費の減額 3. 30%を超える経費の配分の変更

様式 1 - 1 (第 4 条関係)

年 月 日

大阪府知事 様

所在地

団体名

代表者名

大阪府スマート農業機器自作支援事業実施計画の認定について (申請)

大阪府スマート農業機器自作支援事業実施要領第 4 条の規定により、大阪府スマート農業機器自作支援事業実施計画を認定されたく申請します。

【添付書類】

- 実施計画書 1 (様式 1 - 2) ※第 2 条 (1) を実施する場合
- 実施計画書 2 (様式 1 - 3) ※第 2 条 (2) を実施する場合
- 見積書
- 設計書又は完成物イメージ図 ※第 2 条 (1) を実施する場合のみ
- その他、知事が必要と認める書類

大阪府スマート農業機器自作支援事業実施計画書 1

団体名	
-----	--

1. 申請者情報 (必要に応じて行を追加してください)

	氏名	栽培品目
申請者 1		
申請者 2		
申請者 3		

2. 計画の概要

2-1. 事業の目的・背景 (現状や抱える課題、事業目的について記入)									
2-2. 事業の実施場所及び面積									
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">所在地</th> <th>面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">a</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">a</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">a</td> </tr> </tbody> </table>		所在地	面積		a		a		a
所在地	面積								
	a								
	a								
	a								
位置図 (事業導入予定地を○で示す)									
2-3. 作成物の内容及び実施スケジュール (事業の具体的な工程について記入)									

<p>2-4. 事業の成果目標 ※定量的指標（高品質化・高収量化・省力化の観点等）を交えて記入すること</p>

3. 作成予定の農業機器および作成に必要な工具・資材と経費（適宜行を追加してください）

作成予定の機器名	必要な工具・資材	単価	必要な個数	費用
合計				

4. 連携する技術者

技術者の名前	
技術者の所属名	
技術者の所在地	〒
技術者の電話番号	
技術者の情報がわかるホームページなどの URL	
技術者の選定理由	
相談予定内容	
相談料金（総額）	

※複数の技術者と連携する場合は、表を追加してください。

（チェック欄）

事前に機器の動作保証や故障時の対応等について、技術者と協議の上、合意が取れている。

5. 収支予算書（適宜行を追加してください）

（収入の部）

項目	金額	備考
自己資金		
補助金		
合計		

（支出の部）

項目	金額	うち補助金予定額	備考
材料費			
相談費			
合計			

※適宜行を追加してください

大阪府スマート農業機器自作支援事業実施計画書 2

団体名	
-----	--

1. 申請者情報 (必要に応じて行を追加してください)

	氏名	栽培品目
申請者 1		
申請者 2		
申請者 3		

2. 相談する技術者

技術者の名前	
技術者の所属名	
技術者の所在地	〒
技術者の電話番号	
技術者の情報がわかるホームページなどの URL	
技術者の選定理由	
相談予定内容	
相談料金 (総額)	

※複数の技術者と連携する場合は、表を追加してください。

(チェック欄)

事前に機器の動作保証や故障時の対応等について、技術者と協議の上、合意が取れている。

3. 収支予算書 (適宜行を追加してください)

(収入の部)

項目	金額	備考
自己資金		
補助金		
合計		

(支出の部)

項目	金額	うち補助金予定額	備考
相談費			
合計			

※適宜行を追加してください

様式 2 - 1 (第 5 条関係)

年 月 日

大阪府知事 あて

所在地

団体名

代表者名

大阪府スマート農業機器自作支援事業 計画変更承認申請書

〇〇年〇月〇日付けで申請しました〇〇年度大阪府スマート農業機器自作支援事業について、別紙の理由により事業内容の変更承認を受けたいので、大阪府スマート農業機器自作支援事業実施要領第 5 条の規定により申請します。

【添付書類】

- 変更理由書 (様式 2 - 2)
- 変更後の事業計画書 (変更箇所を下線により示すこと)
- その他、知事が必要と認める書類

様式 2 - 2 (第 5 条関係)

大阪府スマート農業機器自作支援事業 変更理由書

1 計画変更の理由

2 事業計画の内容

当初計画			変更計画		
事業内容	事業費	備考	事業内容	事業費	備考

(注) 変更後の計画書を添付すること (変更箇所を下線により示すこと)

様式3（第6条関係）

年 月 日

大阪府知事 様

所在地

団体名

代表者名

大阪府スマート農業機器自作支援事業 中止承認申請書

〇〇年〇月〇日付けで申請をしていた〇〇年度大阪府スマート農業機器自作支援事業について、下記の理由により事業の中止の承認を受けたいので、大阪府スマート農業機器自作支援事業実施要領第6条の規定により申請します。

記

理由

様式4（第7条関係）

年 月 日

大阪府知事 あて

所在地

団体名

代表者名

大阪府スマート農業機器自作支援事業 実施報告書

大阪府スマート農業機器自作支援事業実施要領第7条の規定により、本事業が完了したことを報告します。

【添付書類】

- 実施報告書1（様式1-2）※第2条の（1）を実施した場合
- 実施報告書2（様式1-3）※第2条の（2）を実施した場合
- ※様式中の「計画」を「実績」に、「予算」を「決算」に替えて記載すること。
- 成果物の写真（全体像がわかるもの）
- 成果物の作成マニュアル（様式5）
- ※過去の実績・マニュアルに沿って実施した場合は提出不要
- 技術者からの指導内容（様式6）
- 収支報告書
- その他、知事が必要と認める書類

様式5 (第7条関係)

作成マニュアル

団体名	
作成物の概要 (使用用途、動きの概要など)	
成果物の写真	
作成期間	
必要材料、個数	
作成手順 ※第3者がわかるように、図や写真を用いながら具体的に記載する。	

※肖像権や著作権等を侵害していないデータを使用すること。

様式6（第7条関係）

技術者からの指導内容

	日時	技術者名	内容
例	○月○日	△△	指導を受けた事項や取り組んだ内容について簡潔に記載
1	○月○日		
2			
3			
4			
5			

※事業実施主体が技術者から指導を受けた内容について記載してください。

※適宜行を追加してください。

様式7（第8条関係）

年 月 日

大阪府知事 様

所在地

団体名

代表者名

大阪府スマート農業機器自作支援事業 効果報告書

大阪府スマート農業機器自作支援事業実施要領第8条の規定により、事業完了後の経過を下記のとおり報告します。

記

1. 事業内容
2. 事業完了後翌年度の活用状況の概要
3. 導入による農業経営への効果 ※定量的指標（高品質化・高収量化・省力化の観点等）を交えて記入すること
4. 今後の展望